

講演会の感想

今日の感想は三好さんの少しの体験もあり、それと導く自分のために過去にあつた津波や地震をうつしてスライドもすごく簡単に説明してくれてすごく感動できましたと思いました。あと、最後うへんに流れていた「しあわせ運べるように」が流れてそれと同時に被害にあつた方の写真や情報を流してくれて、正直この地震にあつた人達のつらさが経験と聞いた時少しかなしくなりました。ただ、その神戸市民の人達のおかげで、その経験と聞いて、比べ物にするなんて思うので未来につなげていくために自分も少しなりとこの出来事は大事にすることを人に、な。た時に知らせたいかなければならぬと思いました。三好さんのお話、聞いた「番」ら、た出来事が色々な大七かなと、つらかったはずなのに映画と同じようにその犠牲になつた人の事や、被害の新たな情報を伝えたいかなければならぬというその気持ちがすごく伝わってきて改めてその人への尊敬と感謝を感じました。自分も未来にとつてもこの大地震を経験するかもしれない、だからこそこれから未来を大七かにしたいかなと思いました。

講演会の感想

水道が壊れてあけられなくて、壊れていて
かわいそうだった。

しかも周りに血がついていたので
相当くろしてたと思う。

我が家は西区とかにはすごい数の家があったので、
びっくりした。あったストッパはかんたんにつくられたので、
地震のときに活用したいと思いました。

講演会の感想

今日の講演会で、阪神淡路大震災を今より
もっと知れてよかったです。三好さんの話で家族
と一緒に地震とかかかってくる前に話すみたいな
ことを言っていて、私もそろそろ防災リュックやひなん
場所とかを準備したり、話しあったりしたいです。
三好さんは、阪神淡路大震災を本当に体験し
ている人で地震はこんなにたいへんなことを知

れてよかったです。南海 1 年 () 組 () 番 ()
トラフがきたときは、今日学んだことを活かして、災害
とかに備えたいと思います。

講演会の感想

聞いてほしいのや言葉もたくさん知れたから
外国の人たちに伝えられるようにがんばっていきましょ

講演会の感想

神戸の町がまるで違う町のようにだった。いろいろな画像を
みし、窓ガラスがほとんど割れている神戸新聞社や
崩落したビルなどがあったおどろきました。

三好 正文さんから教わったことを私たちが語り部として外
国人に伝えていきたいです。海外では地震が少ないからこそ、
いざとなった時のために備えておくことが大事ということや、け
が人も少しでもなくなるために何をすべきなのかをポスターをつ
かって英語で知らせたい。1年()組()番()
です!!

講演会の感想

三好さんのお話を聞いてまず感じたことは、地震の影響は単なる揺れだけで
なく、人々の生活や地域全体に大きな津波効果をもたらすというこ
とです。被害の大きさや救助活動など、一つひとつの切り断
りか合点生活に直結することを知り、改めて防災を学ぶことに感じ
ました。また、三好さんなどの被害を受けた記者さんからは、地震を
正確に情報を伝えることが大切だと考え、自分のいなり、市民
に安全に導くことが重要な役割だと感じました。

講演会の感想

ふつうは悲しいはなしなのに、なみち「ちよひ」おもしろいことを

言って、~~大層な~~話をなつておもしろい

3回も新聞つくるのをとりまきそうなの

3回もなんとかしてつくるやりまきするせしむにあつたおもしろい

講演会の感想

神戸新聞の人の話を聞いて、大震災について、
くわしく知ることができて、いよいよ体験になら
した。とくに、災害被害を受ける時に気を付けてることや、
阪神・淡路大震災で学んだことなど、そういう話を聞いた
が、できてよかった。被災者がつらかったことなど、
改めて聞いて、セカないと思いました。SWライブでも
がんばって取り込もうと思いました。

講演会の感想

72時間の壁を始めて聞いて、意味も始めて聞いたので、この地
震があって、この言葉がうまれたんだなあと思いました。
今は、死者、自殺のでも含まれているけど、当時は含まれて
なかったとかが分かりました。新聞でいって作る新聞スリッパを
始めてつくったので、こういうふうに作るんだなあと分かりました。
その日寺に起こったことを写真におさめて、それを見せてもらったとき
おどく、そうでした。
すごくわかりやすい説明で、聞いたことがないことも分
かちました。今回聞いた話を参考に防災学習でいかせたらな
と、思います。

講演会の感想

人は助け合うことも大切で、「共助」だけど、
近いうちに起こると予想されている
「南海トラフ」は、日本全体に被害がでるから、
自分でがんばること「自力」も考えた方がいいん
だなと思いました。
阪神・淡路大震災のことを教訓に、教えてくださった
ことを、また次の世代へとつないでいかないといけない。
悲しみもあるけれど、当時必要だったのは、「生きる」という
希望なんだと、私も、大きな地震が起こった時に、
悲しいことばかり考えるのではなく、ポジティブに
生きたいと思いました。1年()組()番()

講演会の感想

今日の講演を聞いて自分の命より新聞のほうを
優先した理由が分かった
震災の話は、日ごろの防災意識を高めることの大切
さを実感しました。自分も普段から備えをして
おきたいと思いました。

講演会の感想

三好さんの話にはとても教訓になることが多くて、いい体験になりました。
合間の体験談もすごく勉強になりました。
この話をぜひコンテンツに生かしていきたいと思います。
スリッパを新聞紙で作る裏技みたいなのも「こんなあるんだ」と思ったので、
明日起きるかもしれない災害に備えて他のやり方も学ん
でいきたいと思います。

講演会の感想

「72時間かべ」という言葉は聞いたことなかったし、阪神・淡路大震災の時に
できたことを始めてしりました。

震災関連死という言葉は始めてしりました。

私は地震の後逃げきった人が
ひょうきなどでも亡くなる人だな
と思いました。

6434人のうち921人亡くなったことにおどろきました。

火事がおきてもいっばいの場所でも火事がおきてるから消防車がこない場所
があるし、消防車のとかれ道がないからこれがないから、その家の人たちは、かわいそ、
だし、くろとこない人で不こういかなと思いましたが、家の下じきになってきかばい
も、亡くなり、きかばいせずに火事で亡くなりすることがあるなと思いました。

講演会の感想

神戸で亡くなった人の数を聞いたことがなかったのので聞いた時に、想像の2倍以上
あったのでおどろきました。

神戸を応援するライブを聞いて、皆が元気づけられて復興の希望をもたせて
いたのがすごいと思いました。

講演会の感想

阪神・淡路大震災
のコミュニティ

被災者どうしてつながる。

「備えていれば助かる」というけど偶然か、重なるか、死ぬかか、
決まるんじゃないかなと思いました。

「新聞は被災者の人にとって希望と支援の情報をしる重要なもの
である」と改め感じました。

→ 自分に出ることを考える。

講演会の感想

問題とかを出してくれて分かりやすい講演会だった。
阪神・淡路大震で「ほぼほぼ」神戸の人が「死者だ」と
しておどろいた。あと名前に「道路」が入ってる理由が
「道路も被害をくらった」というのを忘れてはくちくち
と知りおどろいた。

講演会の感想

映画と重なる部分もあって、実際の当時の新聞や写真を見るだけで
自震の規模が伝わってきて、より細かなところまで知ることができて
良い経験になったなって思います。

おべんとうといってくるように、いつ命を落とし、大切な人を失くすか分からないから
毎日のあいさつと感謝も忘れないうようにしたいと思いました。

講演会の感想

わざわざ当時にいた人もきてくれて、とても感謝
しました。

いろいろ映画で知れなかったことを知れたりして
よかったです。

講演会の感想

被害を受けた人や人を亡くした人の声を聞いて、明るい気持ちになれたことがすごいと思いました。やはり、大震災は受け継いでいくことが大事だと分かりました。

「人は二度死ぬ」という言葉は、人の体がなくなるという意味と、周りの人から忘れられるという意味があることを知って強く印象づけられました。

講演会の感想

本当に震災を体験した人の話を聞くと、すごくリアルで、初めて知ったこともありました。今、地震を経験した人が増えてきている中で、私たちが未来の子たちに伝えられるようにがんばります。

講演会の感想

映画だけでは、わからなかったことを、実際に体験した人に教えてもらい、もっと詳しいことがわかりました。

新聞でスリッパを作るのも楽しかったです。

私も、震災のことを学んで、後世に伝えていきたいです。